

園だより あおいそら 6月号

令和 8 年 5 月 15 日（金）熊本大学教育学部附属幼稚園

園長コラム

♪ 風薫る季節の中で ♪

さわやかな 5 月の風が園庭を吹き抜け、新緑が美しく輝く季節となりました。子どもさんたちは戸外遊びや散歩を楽しみながら、草花や虫を見つけては嬉しそうに知らせてくれます。入園・進級から 1 か月が過ぎ、少しずつ園生活にも慣れ、友だちや先生と笑顔で過ごす姿が多く見られるようになりました。

天気の良い日には、園庭で元気いっぱい体を動かしたり、砂遊びや遊具遊びを楽しんだりしています。また、各クラスでは季節の制作や歌、リズム遊びなどにも意欲的に取り組み、子どもたちの成長を日々感じています。

先日、子どもさんたちの様子を見に行くと、次のような姿を見ることができました。

○固定遊具（ブランコやジャングルジム）で友だちと順番を考えながら遊ぶ姿。

○砂遊びの中で、コーヒーマスターやパンケーキをつくり、まわりの人に振る舞う姿。

○こいのぼりの歌に合わせて自然とピアノ近くにお集まりをする姿。

○チョウやクロアゲハ・ダンゴムシなどをつかまえ、大切に育てようとする姿。

○絵本にくぎ付けになってお話を楽しく聴く姿。

など、子どもさんたちのくらしの中で、学び・成長している姿を感じることができます。

上記の姿は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながると考えます。

子どもたちの何気ない遊びややり取りで、一人ひとりの気持ちを受け止め、安心して過ごせるようにし、友だちとの関わりを見守りながら、必要に応じて言葉を添えていきたいと考え援助しています。さらに、季節の自然に触れられるよう環境を整え、「やってみよう」という気持ちを大切に挑戦を支える環境づくりにも取り組んでいます。子どもさんたちの生き生きと活動する姿、日々成長する姿を大切にしていきたいと思っています。

これから梅雨の季節を迎えます。室内でも楽しく過ごせる活動を取り入れながら、健康面にも十分気を配っていききたいと思います。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

-文部科学省-



5 月 13 日 附属幼稚園創立記念日～110 歳を迎えます～

大正 5（1916）年、熊本市立壺川幼稚園創立と同時に熊本県女子師範学校代用幼稚園が内坪井に開園しました。その後、昭和 47（1972）年、附属幼稚園は、城東町に新園舎を建てました。今の園舎の土台となっています。さらに、平成 26（2014）年に改修工事を行い、現在に至っています。

この中で、多くの子どもたちが遊びを通して学び、成長し、巣立っていっています。それらをずっと見守ってくれている「くすのき」。この下で、記念写真を撮りました。

今年は、110 周年記念ということで、同窓会のご支援により、人形劇を見ることができました。子どもたちは、多くの方々の協力・支援があって、成長していきます。感謝申し上げます。



【お迎え訓練】

『地震・火災・大水・不審者訓練』いろいろな場合を想定して練習していきます。ご家庭でも非常時の際にどのようにするかを、お話をさせていただいたと思います。特に、最近は日本各地で地震が発生しています。もしもの時に備えて、緊張感をもって取り組んでいたことと思います。皆様、ご協力ありがとうございました。